

私たち **3,500**万人 の声を聞いてください!!

協会けんぽ 加入者

### もはや、私たち中小企業の負担は限界です

賃金が低下する中で、増大する高齢者医療費の影響を受け、保険料率が毎年上昇。

私たちが加入する協会けんぽの保険料率は特に高くなっています。

私たち従業員が安心して医療を受けられ、私たち経営者が納得して保険料を納められるよう、保険料率格差のない安定した健康保険制度にしていきたいのです。

## 私たちが国にお願いしたいこと

協会けんぽへの  
国庫補助割合の引き上げ

現行  
**16.4%** → **20%**

### 高齢者医療制度の見直し

- 高齢者医療の公費負担拡充
- 高齢者医療を支える現役世代の負担を、人数割から支払い能力に応じた負担に変更
- 高齢者にも応分の負担  
(70~74歳の高齢者の窓口負担割合を1割から2割に)



協会けんぽの保険料負担軽減に向けた署名

総数 **3,170,507** 筆 (平成24年10月30日現在)

皆様からいただいた署名は、内閣総理大臣あてに提出します。

 **全国健康保険協会**  
協会けんぽ

## 全国健康保険協会 全国大会

全国 **3,500**万人の加入者のため

# 国庫補助割合の引き上げを！ 高齢者医療制度の見直しを！

● 開催日時 ●

平成24年 11月6日(火) 12:00 開会

● 開催場所 ●

イイノホール (東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビル 4F)

 **全国健康保険協会**  
協会けんぽ

# 大会次第

## 1 開会

## 2 議長挨拶

東京支部評議会 議長 原山 陽一

## 3 基調報告

全国健康保険協会 理事長 小林 剛

## 4 来賓挨拶

厚生労働大臣

政党代表

- 民主党
- 自由民主党
- 国民の生活が第一
- 公明党

関係団体

- 日本労働組合総連合会
- 日本商工会議所
- 全国中小企業団体中央会
- 全国商工会連合会
- 健康保険組合連合会

## 5 意見交換

テーマ 『被用者保険の今後のあり方について』

目白大学大学院 客員教授	宮武 剛
鳥取県中小企業団体中央会 会長	常田 禮孝
岩手県社会保険委員会連合会 会長	古玉 隆子
全国健康保険協会 理事長	小林 剛

## 6 決議

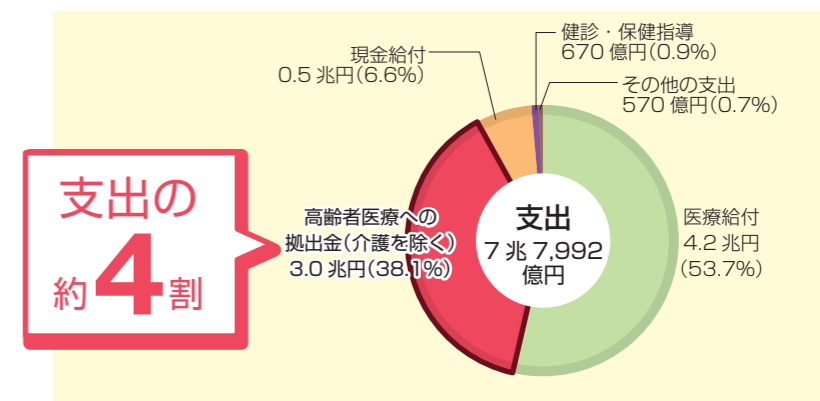
## 7 閉会の辞

東京支部評議会 議長 原山 陽一

## 高齢者医療への協会けんぽの負担が増大

協会けんぽの支出約 8 兆円のうち、3 兆円(約 4 割)が高齢者医療の負担に充てられている。

● 協会けんぽの財政構造(23 年度決算)

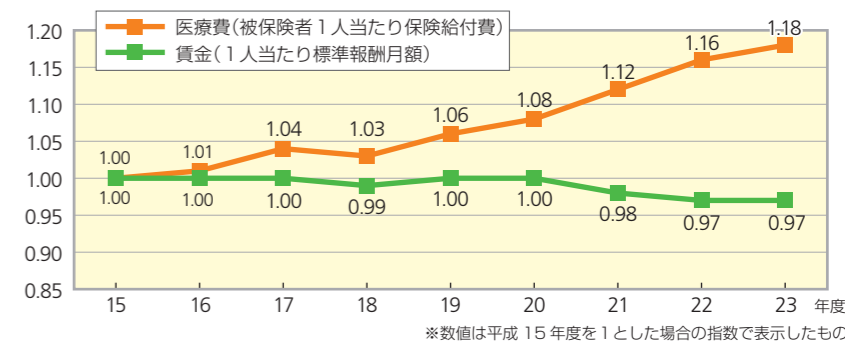


支出の  
約 4 割

## 医療費支出が保険料収入の伸びを上回り、赤字構造が拡大

協会けんぽの医療費支出(1人当たり保険給付費)が増加する一方、保険料の基礎となる賃金(1人当たり標準報酬)は下がっており、加入者の保険料負担は増大している。

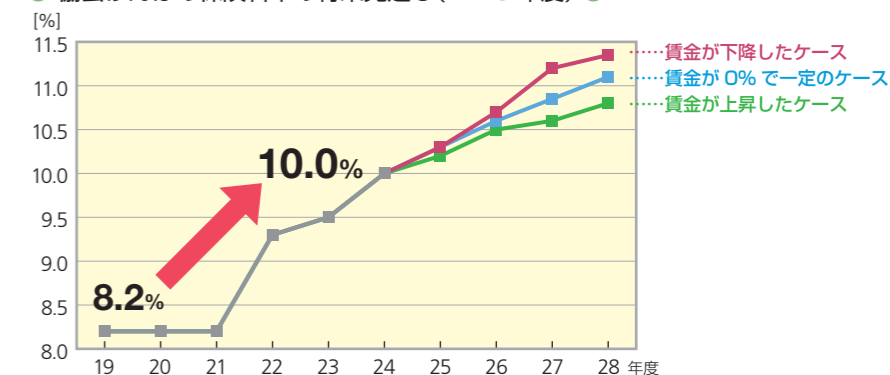
● 協会けんぽの保険財政の傾向



## このままでは中小企業の経営を更に圧迫

協会けんぽの平均保険料率は、制度改正が行われず現状のまま推移した場合、今後も保険料の上昇が避けられない見込み。

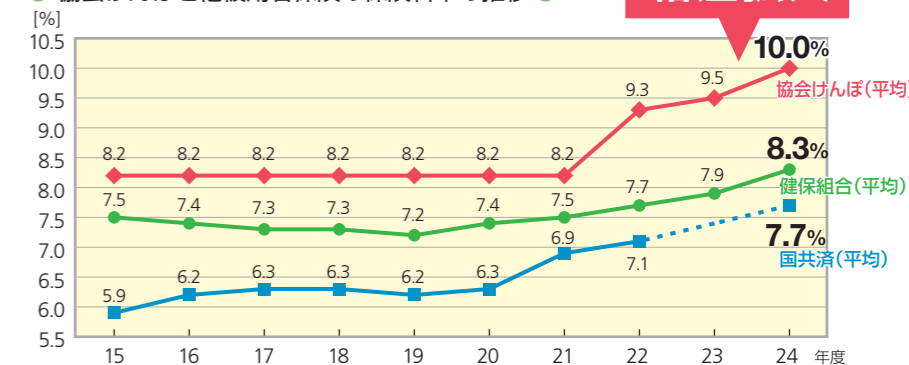
● 協会けんぽの保険料率の将来見通し(~28年度)



## 制度による格差を解消すべき

15年度から総報酬制(賞与も保険料算定の基礎とする)の導入とともに、中小企業の経営環境の悪化に伴い、保険料率格差も拡大。

● 協会けんぽと他被用者保険の保険料率の推移



格差拡大